

世界遺産登録申請について

質問 市の観光財産を人類共通の財産として世界遺産登録に向けて申請する考えはないか伺いたい。

答弁 国、県はもとよりこの地区に関係する地方公共団体の数も多く、また、関係機関等さまざまな観点からの議論も必要であり、申請基準も厳しく、現状では厳しい状況にあると認識している。

観光振興対策について

質問 新市まちづくり計画における観光振興対策について伺いたい。

答弁 東北新幹線八戸以北の開通が平成二十二年度末に予定されている中、当市の観光資源をどのように活用するかが大きな課題であると認識している。新幹線効果を生かすため、「(仮称)七戸駅」までのアクセスの向上、体験型観光の推進、新たな観光資源の創造、それから、良好な都市環境の整備などを進め、一度訪れた人々に感動を与え、再び当市を訪ねたい、また、この街に住みたいと感じられるようなまちづくりを進めていきたい。

うしの湯祭りについて

質問 十和田湖温泉郷うしの湯祭りの焼き肉パーティーについて、平成十五年度は高級和牛、十六年度は本格和牛、十七年度は国産和牛と変わった理由を伺いたい。

答弁 十六年度までは銘柄名十和田湖和牛を使用してきたっており、同時にイベントになじむ親しさを付記して「高級和牛」「本格和牛」と名称を使用してきた。

十七年度は、関係団体からの事前の聞き取りや枝肉市場の高騰等を知り、予算対応が困難であることが予想されたため、実行委員会では十和田湖和牛を断念し、国産和牛の名称にしたと聞いている。

今後は、再度十和田湖和牛を使うように指導していきたい。



昨年のうしの湯祭りから

農業行政について

質問 農業の担い手となる大規模農業家などに助成を集中させる「経営所得安定対策等大綱」に向けた認定農業者の育成と集落営農組織構築をどのように指導するのか伺いたい。

答弁 十和田市地域担い手育成総合支援協議会を立ち上げ、推進体制を整えたところである。計画、具体的な取り組みについてはこれからとなるが、育成確保については、緊急の課題であることから、支援協議会を立ち上げた十月から国、県、農協職員一体となり、全農家を対象に資料、パンフレットを示して集落説明会を開催し、まずは制度の周知に努めているところである。

なお、担い手としての位置づけについては、農家の意向が大事であることからアンケート調査を実施して意向の把握や課題の把握に務め、それに対する対応策なども整理しながら進めていきたい。

ボランティア団体について

質問 市のボランティア団体の数と人数を伺いたい。

また、合併後も同じ助成となっているのか伺いたい。

答弁 平成十六年の調査では、二百八十一団体である。会員数については、子供会や文化団体等数千人の団体から少人数での団体と幅が広く、活動が重複している会員もあるが、延べ人数にすると、約一万五千人ぐらゐとなっている。

補助金の交付については各部署で所管しており、必ずしも合併前と同様とはなっていない状況である。

建設

道路行政について

質問 大型ショッピングセンターの進出や国道四号バイパスの開通などによる交通体系の変化等、状況変化に対応した道路整備を急ぐ必要があると思うが、まちづくりという観点から、計画の見直しや新規計画を作成する考えはないか伺いたい。

答弁 経済情勢の変化やまちづくりの方向性の変化等で長期間整備できないところが多々存在する。平成十七年度には県が都市計画道路の見直し案を市町村に提

示しており、市としても県の方針を受け、来年度から末着工路線を中心に見直しを図るための調査を実施する予定である。

市営住宅について

質問 現在、市営住宅の入居希望者の待機者はどれくらいか。

また、市営住宅に公営住宅借り上げ制度を導入する考えがあるか伺いたい。

答弁 十二月一日現在の入居希望者は七十三名となっている。

公営住宅借り上げ制度に

については、県内では青森市と弘前市が実施しているがこの借り上げ制度のほかいろいろな制度があり、これらの制度を比較しながら公営住宅の供給方式について調査研究していきたい。

質問 東地区には市営住宅がなく設置を希望するが、その考えはないか伺いたい。

答弁 市では現在、十三の団地を管理しながらも、現況では上平団地、金崎B団地の建て替えの時期を検討中であり、東地区への設置については、現段階では難しいものと考えている。

赤石花男議員逝去



赤石花男議員(六十歳)が十一月十八日急逝されました。

同氏は平成十一年、旧十和田湖町の町議選に初当選し、連続二期を務め、平成十七年一月の合併に

より新十和田市議会の議員となりました。

この間、旧十和田湖町では農林建設常任委員長、教育福祉常任委員長の要職を歴任、新市においては建設常任委員を務められ、旧町そして新市の発展に多大な貢献をされました。

同氏が生前に尽くされた功績をたたえらるるとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。